

# 第67回全国消防技術者会議の開催報告

## 消防研究センター

11月21日(木)及び22日(金)の2日間にわたり、第67回全国消防技術者会議が、東京都港区虎ノ門のニッショーホールで開催されました。この会議は、消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発の成果等を発表し、消防職員や消防団員をはじめとする消防関係者間での意見交換を行う場として、昭和28年より毎年開催されているものです。また、第62回より、「消防防災研究講演会」を同時開催しています。

21日には、特別講演、2019年度消防防災科学技術賞の表彰式及び受賞作品の発表を行いました。22日には、公募した研究成果の一般発表と、消防研究センターにおける研究成果を発表する第23回消防防災研究講演会を行いました。内容は、21日は消防防災科学技術賞受賞作品から口頭発表14件、展示発表10件、22日は一般発表の中からの口頭発表7件と展示発表4件でした。展示発表は昼休みに会場ロビーにて行いました。2日間の参加者数は、延べ1,027人でした。

特別講演では、信州大学総合情報センター長不破泰教授に、「Society5.0による安全・安心な地域の実現」と題してご講演いただきました(写真1)。講演の前半では、不破泰教授がこれまでに行ってきた地域の安全のための研究が紹介されました。災害時に停電となっても機能するセンサーネットワークシステム、地域見守りシステム、河川水位監視システムなどについてわかりやすく説明されました。後半では、Society5.0の概要を説明し、その基幹技術である5G通信の山岳救助への応用が紹介されました。信州大学のある長野県には高い山が多くあり、多数の登山者が集まることから、毎年、登山者の遭難事故が発生しています。不破泰教授が開発している登山者の位置把握、遭難者救助、遭難防止のための山岳登山見守りシステム、さらに、既存の通信技術と5G通信技術の長所を組み合わせ開発した、遭難者を発見・救助するためのドローン技術が紹介されました。消防機関による山岳救助活動での活用が期待されます。

第23回消防防災研究講演会のテーマは、「消防を支援する科学技術の向上を目指して～消防研究センター研究成果報告～」でした。消防研究センターでは、近年の大規模災害の発生や社会インフラの老朽化や少子高齢化など、我が国の消防を取り巻く環境の変化を踏まえ、消防科学技術の向上により消防力を更に充実強化することを

目的とした研究を行っています。本講演会では、消防研究センターで取り組んでいる研究の中から「消防ロボットシステム：スクラムフォースの研究開発」や「土砂災害現場の救助活動に関する研究」など9つの研究における最近の研究成果を紹介し、消防を支える消防科学技術研究の今後を議論しました(写真2)。

次回の全国消防技術者会議の詳細に関しましては、決定次第、消防研究センターホームページ (<http://nrifd.fdma.go.jp/>) 等によりご案内させていただきます。



写真1 不破泰教授による特別講演の様子



写真2 消防防災研究講演会の様子

### 問い合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画室  
TEL: 0422-44-8331 (代表)